

研究計画書

令和7年7月1日

医療法人社団甲南病院 栄養管理課 主任 管理栄養士 増田 寿樹

1、テーマ

特定保健指導（積極的支援）の効果と課題

2、研究の背景

我が国では平成20年度より、生活習慣病の発症や重症化予防及び生活習慣病の発症前の段階であるメタボリックシンドロームの該当者やその予備群を発見することを目的とした特定健康診査と、特定健康診査の結果により生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して、特定保健指導が導入されている。個人の受診者の行動変容につなげ、成果を重視した保健指導を実施することで食生活・身体活動・喫煙などに関する不適切な生活習慣の見直しが期待されている。

3、研究の目的

当院では平成28年度より特定保健指導を開始し、対象者の生活習慣の改善及び生活習慣病の予防に向けて、動機付け支援・積極的支援を行っている。本研究は積極的支援対象者（内臓脂肪型肥満やメタボリックシンドロームのリスクが高い方）を対象に保健指導を実施した際の効果を分析し、今後の課題を明らかにすることを目的とする

4、研究方法

調査期間：令和元年4月～令和6年3月

対象者：特定保健指導（積極的支援）を受けた80名

支援内容：初回面談後から4ヶ月以上に渡り、電話支援・中間面談による継続支援後、最終評価を実施

評価内容：健診時と最終評価時の体重・脈圧・喫煙習慣の変化

健診時と中間面談時のLDL-C・HDL-C・HbA1c・TGの変化を検証

5、期待される効果

本研究により、行動変容や検査結果の変化における現状を把握し、課題を明確化することで目標達成に繋がることを期待できる

6、参考文献

標準的な検診・保険指導プログラム 令和6年度版

特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き 第4版